

2016年8月1日

### 朝礼の話 (2016年8月)

皆さんお早うございます。先月18日、気象庁は、九州から東海地方までの梅雨明けを発表しました。近畿地方では平年より3日早く、去年に比べて6日早い梅雨明けとなりました。関東・甲信地方は先月28日に約一週間遅れの梅雨明けとなりました。近畿地方の梅雨明け後のお天気は、雨が降ったり、比較的過ごしやすい日が続いてきましたが、先週末から真夏の厳しい暑さを感じさせるお天気となってきました。直近の3ヶ月予報では、8~10月まで平年より高めの気温が続くとのことで、秋の訪れも遅くなりそうとの見通しが出されています。日中の最高気温が35度を超える厳しい真夏日がやってきます。環境省は、熱中症の注意情報が出されたら、「外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。運動は原則中止し、水分補給を充分に行うこと」と呼びかけています。取引先への訪問などで日中外出する場合も適度に涼しい場所で休憩を取ることを心がけてください。8月はお盆休みで比較的長い休みの取り易い月になります。思い切って休暇をとり、日頃の疲れを癒し、英気を養って大いに心身のリフレッシュに努めてください。

6月23日、英国のEU離脱ショックで世界の金融市場が大きく動揺しました。ポンド、ユーロが売られる一方、安全通貨として円が買われ、ドル/円相場は一時100円割れの99円台まで突っ込みました。急激な円高を反映し株式相場も大きく売られ日経平均は15,000円割れまで値を下げました。英国では、キャメロン首相の辞任を受け与党・保守党党首に選出されたテリーザ・メイ女史が新首相に就任し新政権が発足しました。国民投票開票直後に懸念された英国内、EU内の大きな混乱についてはなんとか回避できそうな状況であり、EU政府との離脱交渉の道筋も見えてきました。金融市場も一時の混乱から落ち着きを取り戻しています。その後、南仏ニースで仏革命記念日(7月14日)にトラックが遊歩道にいた群衆に突っ込み、80人が死亡するテロ事件がおきました。翌日15日夜、トルコで軍の一部勢力がクーデターによる政権奪還を目指しましたが、エルドアン大統領支持者がこの動きを阻止し、クーデターは失敗に終わりました。クーデター勢力と治安部隊の交戦に一部市民も加わり市民含め260人以上が死亡しました。22日には、独ミュンヘンの大型商業施設でイラン系の男が銃を乱射9人が死亡する事件が起こりました。欧州は人やモノ、カネの移動の自由を認め、域内の統合を深めることで成長してきました。最近の相次ぐ事件で移民排斥や難民受け入れ停止を訴える域内各国の極右勢力が支持を伸ばしています。EUの「移動の自由」という基本理念に打撃を与え、EU統合の力を殺ぐと懸念されています。金融市場は事件の起こるたびにユーロ安・ドル円高、株安に反応しましたが、大勢は落ち着いた動きとなり、月末にかけての米FRB及び日銀の金融政策会合に焦点が移っていきました。29日のNY外国為替市場で円相場は急伸し102円00~10銭で取引を終えました。日銀が29日に決めた追加金融緩和策が市場期待に比べ小規模にとどまったことと米景気に不透明感が浮上し利上げ時期につき慎重な見方が広まったためと言われています。今週以降も引き続き金融市場特に為替相場の動きに細心の注意が必要です。 以上